



令和8年10月開館予定

湯沢市複合公共施設

※施設イメージは事業者提案時のものであり、今後の設計業務により変更となる場合があります。

PPP/PFI手法(DBO方式)の採用(湯沢市初)

民間活力を活用するため、PPP/PFIの一形態であるDBO方式(設計・建設から維持管理・運営までを一括して契約する方式)を本市で初めて採用しました。建設から運営までを一つの事業者包括的に委託することにより市民サービスの向上と事業費の削減が図られます。

和賀組グループ (事業者)

代表企業	株式会社和賀組【設計・建設】	
構成企業	【設計・建設】 株式会社久米設計 東北支社 (仙台市) 有限会社創建築設計事務所 シグマ企画加納設計 株式会社丸臣高久建設 株式会社三友建築所	【維持管理・運営】 株式会社合人社計画研究所 (広島市) アクティオ株式会社(東京都) 株式会社ヴィアックス(東京都) 【付帯事業(カフェ)】 株式会社アセットクリエイション

複合公共施設の概要が決定しました

令和4年5月に策定した「湯沢駅周辺複合施設整備基本計画」に基づき、「湯沢市の玄関口として多世代が集い、学び、憩い、交流できる『にぎわい拠点』の創造」を基本コンセプトとした複合公共施設の概要が決定しました。

令和4年 5月	整備基本計画策定	令和5年10月	設計施工契約の締結 指定管理者の指定
令和5年 1月	募集要項等の公表	令和5~6年度	基本設計・実施設計(予定)
5月	提案書の締切り	令和8年 6月	工事完成(予定)
7月	優先交渉権者の決定	10月	開館(予定)

多世代が集い、学び、憩い、交流できる「にぎわい拠点」

湯沢市複合公共施設



※施設イメージは事業者提案時のものであり、今後の設計業務により変更となる場合があります。



子育て支援

高い天井による縦方向の空間を活用して安全にのびのび遊べる空間



生涯学習

開放的で多様な活動が重なり合い相乗効果が生まれる空間



図書館

施設内どこでも図書の持ち運びが可能で居心地のいい滞在型空間



歴史資料展示

湯沢市の歴史や文化に触れながら学べる空間

市民活動支援

市民活動団体の交流や連携の促進、情報の収集と発信

市内に点在する公共施設の諸機能（生涯学習、図書館及び子育て支援）の集積を図るとともに、歴史・文化と観光の結節拠点となる歴史資料展示や市民活動支援等の新たな機能を加えた複合施設として整備します。

整備後は、複合化の相乗効果により市民サービスの質を向上させ、子どもから高齢者まで多くの人が集い、まちににぎわいをもたらす施設を目指していきます。

立体駐車場・連絡通路

利用者の利便性・安全性確保と悪天候にも配慮した連絡通路



●施設の概要

複合施設	鉄骨造3階建	約5,500㎡
立体駐車場	鉄骨造2階建	約3,500㎡

●事業費

設計・建設	41億 300万円※
維持管理・運営(約20年)	38億6,342万円
合計	79億6,642万円

※ 設計・建設費の主な財源

- ・国庫補助金(都市構造再編集中支援事業)
- ・地方債(過疎対策事業債)

総務部企画課企画政策班 (0183)73-2113
令和5年11月1日